



むら みささ村だより



発行：みささ村地域協議会 ☎0858 - 43 - 5201

令和5年事業報告

【地域振興部】

- ・スマホ教室 [2月26日]
- ・議会懇談会 [5月31日] [11月14日]
- ・みささこども園交流
 - 百日草種まき[5月22日]ちまき作り[6月2日]植栽[7月10日]種まき[9月29日]
- ・Instagramフォトコンテスト募集期間:8月1日~10月31日
- ・国県土木合同要望活動[12月8日提出]
- ・県道歩道除雪ボランティア活動
- ・各種事業への参加協力:御幸行列、花湯まつり陣所(ジソソ)、キュリー祭



スマホ教室



議会懇談会



こども園交流

【公民館部】

- 4年ぶりとなる「魚つかみ」「秋季大運動会」と多くのイベントを開催することができました。
- ・防災学習会 [3月19日]・GG大会春[4月30日]交流[9月26日]秋[10月28日]
- ・かじかの池清掃活動[7月15日]
- ・モルック&BBQ&魚つかみ[7月16日]
- ・秋季大運動会[9月3日]
- ・温泉芋煮会[11月5日]
- ・モルック体験会[1/28~計10回計画]



魚つかみ



運動会



温泉芋煮会

【福祉厚生部】

三朝温泉の玄関口にあたる『三朝キュリー公園』とその周辺の景観を整備し、道行く人に楽しんでもらえるよう年間を通じ花の植栽、除草を行っています。

- ・三朝キュリー公園と周辺の草刈り作業[5月14日][7月9日][10月15日]
- ・月1作業Day[3月12日][4月9日][6月11日][8月20日][9月24日][11月12日][12月3日]

- その他:春と秋開花用種まき・紫陽花ツツジ剪定・夏場の水やり作業・県道沿い歩道除草剤散布等
- ・花いっぱい事業(花苗とプランターの配布)[6月6日]・[10月31日]
- ・夏の一斉清掃 [7月23日]



草刈り作業



花いっぱい運動

みささ村地域協議会定期総会の開催

- 日時 2月11日(日)午後3時00分~
- 場所 みささ村公民館 三朝町山田608
- 日程 定期総会・各部会(地域振興部/公民館部/福祉厚生部)

※各役員さんへは案内文書を郵送しています。

みんなと一緒に学ぼう！
いざという時に備える！



防災学習会 3/10 日

※午前中開催予定です。

モルック体験会

MÖLKKY

2/24

土

午前 10 時～11 時半

場所:町総合スポーツセンター
(トレーニングルーム)

参加費:無料

誰でも気軽に楽しめるスポーツ!

＼モルックとは?／

フィンランド発の人気スポーツ。木製のピンを倒して点数を競います。1 本倒すとピンに書かれた数字が 2 本以上倒すと倒した本数が得点に。先に 50 点取ったら勝ち! 50 点を超えると 25 点へ逆戻り!

【大震災と家屋の倒壊 大火災】

地域防災士のコラム



■大地震が起こると家屋の倒壊に加え、大火災が起きるのはなぜか?

○家屋倒壊

現在の耐震基準の適用は、1981 年(昭和 56 年)6 月 1 日以降のため、現時点では築 42 年以内の建物であれば基本的に新耐震基準で建てられていると考えていいでしょう。つまり、耐震基準以前の建築家屋が倒壊する危険が高いと考えていいでしょう。

○大地震と火災について

歴史的にみても大地震と大火災は関連性があります。今回は近年の状況をあげてみました。

① 家屋の倒壊や家具の転倒によりガス管や電気線が破損し、ストーブなどの暖房器具に可燃物が接触することでの火災。

② 停電が復旧した際、スイッチが切れていない電気器具が通電状態となり火災となる通電火災。

※平成 7 年 1 月に発生した阪神淡路大震災では、地震により 293 件の火災が発生。被害は焼失面積が 80 万㎡を超えました。死者 6434 人のうち焼死が死因の 12.8%を占めています。

※令和 6 年 1 月に発生した能登半島地震では、観光地「輪島朝市」を中心に、約 200 棟が焼けました。

●被害拡大の理由を専門家は 2 つ指摘しています。

理由 1: 輪島市では、地震発生後津波警報が発表され住民避難を余儀なくされたため、初期消火が十分に行われなかった。また、断水が発生した影響で消火栓の水が十分に確保できなかった。

理由 2: プロパンガス使用地域・木造住宅が密集したため、ガスボンベが爆発となり、大規模火災に繋がった。特に朝市周辺は古い木造住宅密集する「木造住宅密集地」であったことが要因の一つ。

エリア全体が焼け落ちたため、火災発生時の状況も不明。

私見: 季節風の強い時期やフェーン現象(乾燥した風)といった事象が加われば、もっと大火になった可能性がある。過去には日本海側では大火が過去いくつもあり、県内でも発生事例はある。

特に地震と同時に起こる火災は、地震発生⇒長周期地震動を伴う揺れ⇒家屋倒壊⇒逃げる間もない倒壊した家の下敷きになる⇒逃げだせない⇒助けも来ない、来られない(例え助けが来ても素手でははかどらない。見えていても声が聞こえても救助できないもどかしい)⇒圧死状態又は圧死⇒意識不明におちいる⇒同時にどこかで火災発生⇒地震のためライフライン損傷⇒消火が間に合わない、来られない水が出ない道路が通行できない⇒消防隊員、団員も被災している⇒最悪の事態に陥る

日頃から何時やってくるか見えない災害に「想定外」ではなく「想定内」と意識しておきたい。今できることまず自分の家屋を知ろう! 耐震施行の建物なのかどうか!

地域防災士:T.T

みささ村公民館 場所:三朝町山田 608 (スポーツセンター入り口向い)



★公民館の利用は、事前申込が必要です。電話(留守電有)・FAX・Eメール・来館で受け付けています。お名前と連絡先を必ずお知らせください。利用時間は、昼間・夜間の利用もできます。

■お急ぎの場合は、役場企画課(電話 43-3506)までお願いします。

★利用後は、後片付けをきちんとして下さい。ゴミは、お持ち帰って下さい。

★事務局員滞在時間は、毎週月曜日～金曜日 午前 9:00～午後 1:00

★電話 4 3-5201 (FAX 兼用)

★メール: misasamurakyougikai@gmail.com

Instagram



こちらの QR からアクセス⇒